

# ご挨拶

まちづくりを進めるための指針となる総合計画は、これまで5次にわたりそれぞれの時代背景の要請に応え、本町のあるべき姿を目指して策定して参りました。

第5次総合計画策定後10年が経過し、その間、東日本大震災が発生し、経済のグローバル化が一層進むなど社会・経済環境は大きく変化しました。一方で、急速に進む人口減少や少子高齢化への対応など様々な課題に直面しております。

このような中、引き続き社会情勢の変化や町民の皆さまの需要に応えながら、総合的かつ計画的なまちづくりの推進にあたるため、令和2年度から令和11年度を計画期間とする第6次小清水町総合計画を策定いたしました。

第6次総合計画では、多くの町民の皆さまが参画のもとに、町民と行政が協働し創造するまちをめざし、10年をかけて実現しようとする分野別の大綱を明らかにするとともに、5年をかけてその実現に向けて必要な基本施策を体系的にお示ししています。

この計画が、幅広い層の方々に親しまれるものとなり、町民の皆さまと本町の10年後の将来像を共有しながら、協働のまちづくりを実践していきたいと考えております。

今後とも、優れた自然環境や大地の恵みを活かした豊かな町を築き、この計画に描く、誰もが幸せな生活を送ることができ、「ずっと住んでいたい」「住んでよかった」と思えるまちづくりの実現に向けて、町民の皆さまとともに知恵と力を合わせて新たなステージへと歩んで参る所存でありますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、この計画の策定にあたりご尽力を賜りました総合計画策定審議会をはじめ、関係機関・団体の各位、また、貴重なご意見をお寄せいただきました町民の皆さまに対しまして、心からお礼申し上げます。

令和2年3月

小清水町長 久保 弘志

